

# 慈恩寺 Times

第42号

【発行】  
 寒河江市教育委員会 生涯学習課  
 【発行日】  
 令和4年9月5日(月)  
 【問合せ・ご意見等】  
 寒河江市教育委員会生涯学習課慈恩寺振興係  
 TEL:0237-86-8231  
 E-mail :shogaku@city.sagae.yamagata.jp

## 慈恩寺シアター 新映像『慈恩寺の歴史を解き明かせ!』追加!!



タイムスリップした2人は約150年前の慈恩寺の住民と交流します

慈恩寺テラス内にある慈恩寺シアターで、全編アニメーションの新映像「慈恩寺の歴史を解き明かせ!」が9月17日(土)から追加されます。

内容は、現代人の「ゆっこ」(声:フリーアナウンサーの武田祐子さん)と「ゆつきー」(声:俳優の松波優輝さん)が慈恩寺の歴史絵巻から慈恩寺の歴史を学んでいくものです。途中で慶応4年(1868)戊辰戦争時の慈恩寺にタイムスリップし、そこで俳優の渡辺えりさん、俳優の佐藤正宏さん、歌手の朝倉さやさんが演じる慈恩寺の住民に出会うというものです。すべて山形県出身の方による豪華な配役です。

慈恩寺の歴史がわかりやすく学べますので、ぜひ鑑賞ください。



朝倉さやさん



松波優輝さん



武田祐子さん



佐藤正宏さん



渡辺えりさん



三重塔に安置されている模型/三重塔



**三重塔の模型を慈恩寺テラスに設置**

県指定有形文化財「本山慈恩寺三重塔」は、慶長13年(1608)に山形城主・最上氏が寒河江の領主であった時代に建立されました。しかし、文政6年(1823)に火災で焼失します。現存する三重塔は文政13年(1830)に再建されたものです。また、三重塔内には「木造大日如来坐像」が厳かに安置されています。

三重塔内には、今から約200年前の三重塔建設前につくられた精巧な模型があります。三重塔を建てた地元の大工・布川文五郎による1/10サイズの模型です。三重塔内は普段公開していないため、模型も見ることができません。

その模型を慈恩寺テラスにて常時見学できるよう展示します。展示は9月14日(水)からを予定しており、設置場所は常設展示室です。模型を見学した後は実際の三重塔もぜひご覧ください。

# ボランティアガイドにインタビュー!!①

山形大学3年大宮郷花さんは慈恩寺のボランティアガイドとして活動しています。ガイドになったきっかけは？

Q1. ガイドになったきっかけは？



ガイド風景

慈恩寺をはじめ訪れたのは令和3年9月です。大学の寺社仏閣の好きな友人たちと一緒に。ちょうど特別展をしている時でした。

Q2. いつガイドをしていますか？ガイドをする際に気を付けていることはありますか？

基本は大学の長期休みにしています。正しい情報からわかりやすく伝えるように気を付けています。

Q3. ガイドの勉強はどのようにしていますか？

ガイドの先輩の話を聞き、勉強をしています。最初は自分で本を借りて勉強していました。

～インタビューの続きは次の慈恩寺Timesで！～  
ガイドの会では現在会員を募集中です。多少の勉強は必要ですが、老若男女誰でもガイドになれます。ガイドの会への入会申込は、慈恩寺テラス ☎0237-84-6811（ホ）。

## イベント情報

### 特別展「慈恩寺と大江広元の時代」開催

平安時代から鎌倉時代にかけて作られた傑作の仏像が多く伝えられる慈恩寺。今回の特別展では、文治5年（1189）に寒河江荘の地頭となった鎌倉幕府政所初代別当大江広元の生きた時代の仏像を公開します。薬師堂に安置されている「木造十二神将立像」のうち、卯神将、寅神将、巳神将を本堂で拝観できるほか、通常非公開の木造力士像等も公開します。本堂、三重塔、薬師堂の国指定重要文化財16躯、山形県指定文化財11躯の仏像が一挙公開されます。

○期間 9月17日(水)～10月30日(日)  
9時00分～16時00分

○拝観料 900円  
団体(15名以上) 800円  
中学生以下無料

○問合せ 本山慈恩寺  
☎0237-87-3993

○その他 新型コロナウイルス感染防止対策、本堂茅葺き屋根工事により、中止延期の場合があります。



### 今後の慈恩寺関連催事の催行予定等

慈恩寺柴燈護摩会／9月11日(日)午前10時～

場所：慈恩寺白山堂前護摩炉にて

いきものクエスト in 慈恩寺～慈恩寺旧境内のいきもの大調査～

／9月17日(土)～10月30日(日)

内容：アプリを使って慈恩寺旧境内のいきものをコレクションしよう！

問合せ：慈恩寺テラス ☎0237-84-6811

修験の道ウォーキング

／10月22日(土)・26日(水)・29日(土)

詳細は9月20日の全戸回覧でお知らせします。



柴燈護摩は慈恩寺修験の修行で行われていました。明治5年(1872)を最後に修験宗廃止令に基づき止めました。昭和35年(1960)年に復活し、今に続いています。